



Think Automation and beyond...

会社説明資料

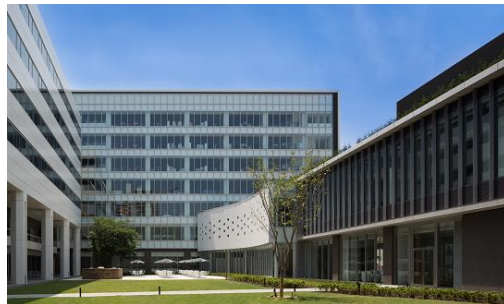
2023年11月

東京証券取引所 プライム市場
証券コード：6652



IDECはどのような会社か？

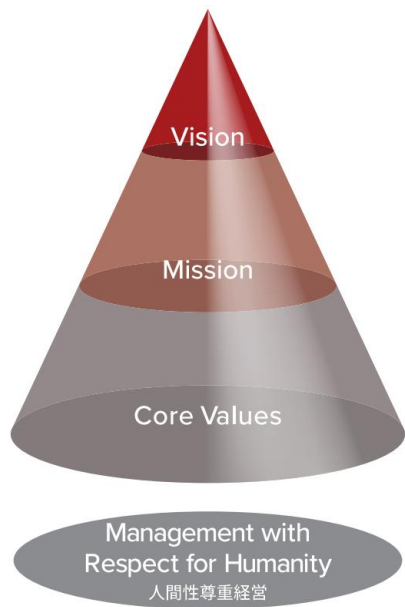
- 会社名 : IDEC株式会社
- 代表者 : 代表取締役会長兼社長 舩木俊之
- 創業 : 1945年
- 所在地 : 大阪市淀川区西宮原2-6-64
- 資本金 : 100億円
- 社員数（連結） : 3,186名（2022年度）
- 上場取引所 : 東京証券取引所 プライム市場



【パーパス（存在意義）】

人と機械の最適環境を創造し、世界中の人々の安全・安心・ウェルビーイングを実現する

※ウェルビーイングとは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念



【The IDEC Way】

Vision ————— 私たちが目指す未来

Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.

いつも、ずっと、みんなに新しい安心を

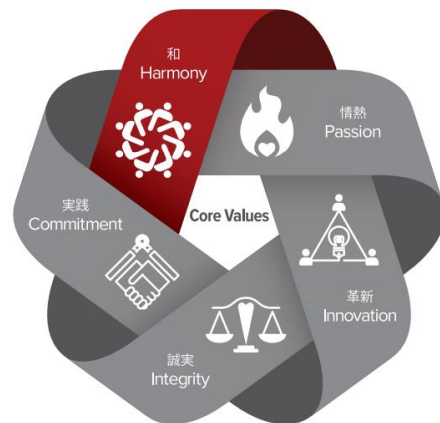
Mission ————— 私たちの使命

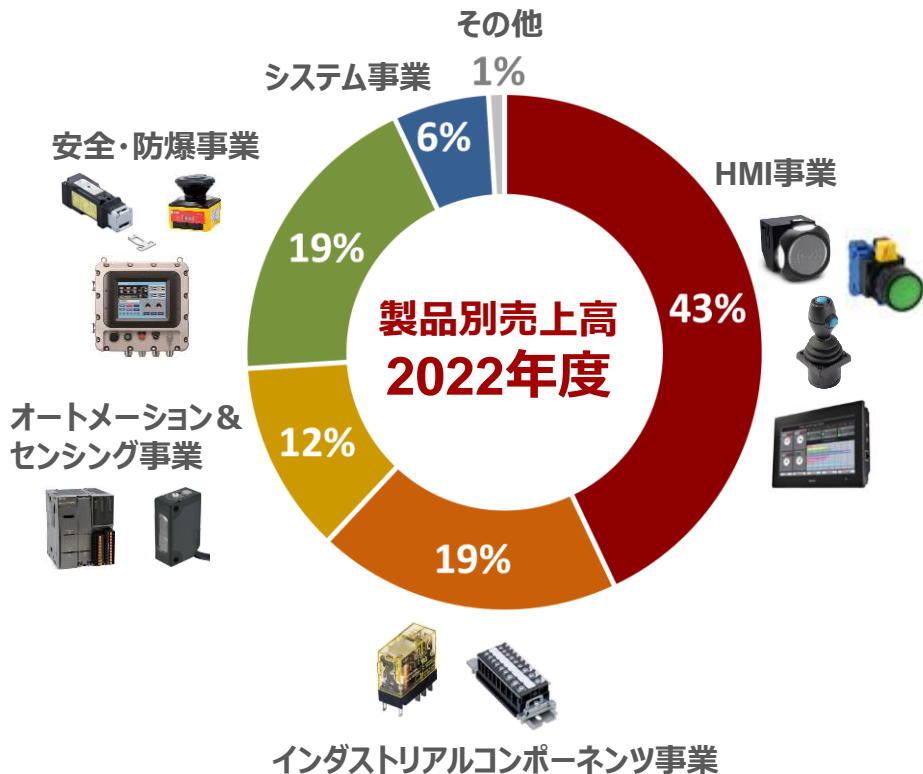
To create the optimum environment for humans and machines.

人と機械の最適環境を創造

Core Values ————— 私たちが共有すべき価値観

Core Values





- **人はミス**を犯すもの・**機械は故障**するものという前提で、不測の事態でも「**人の命を守る**」ことができる製品を開発
- **FA（ファクトリーオートメーション）・制御機器業界**で、人と機械の接点となる**HMI（Human-Machine Interface）製品**を中心にグローバルに展開
- 各種制御機器を、**10万機種以上ラインアップ**し、多様なニーズに対応

IDECグループの歴史



839億円

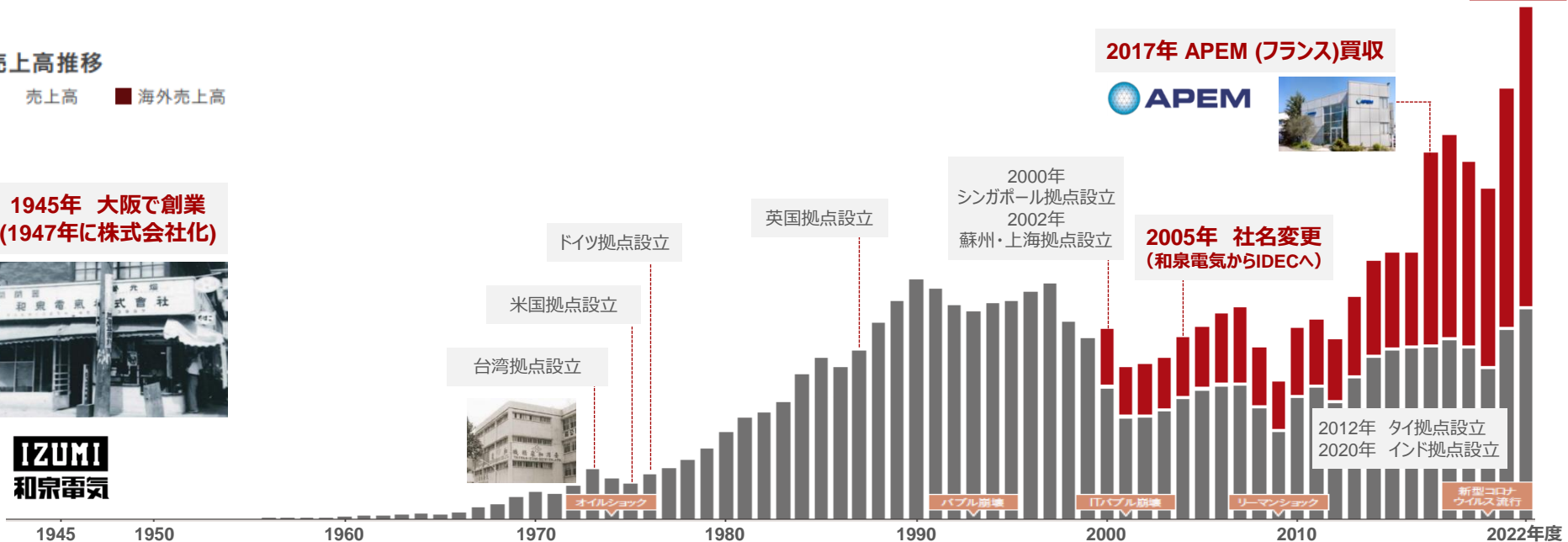
売上高推移

■ 売上高 ■ 海外売上高

1945年 大阪で創業
(1947年に株式会社化)



IZUMI
和泉電気



2017年 APEM (フランス)買収



2005年 社名変更
(和泉電気からIDECへ)

2012年 タイ拠点設立
2020年 インド拠点設立

新型コロナ
ウイルス流行

1950 1953 1958 1969 1972 1989 1993 1998 2011 2017 2022



SB形金属箱
開閉器



防水・防蝕・防爆形
蛍光灯



小形コントロールユニット



SPS形ステップ
プログラマ



イエローリレー



プログラマブル
表示器



MICRO-1
プログラマブルコントローラ



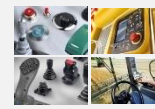
安全スイッチ



インエプル
スイッチ



小形コントロールユニット
「LBシリーズ」



APEM製品



タッチレススイッチ

近年のM&Aや業務提携



ez-Wheel社 (フランス) と戦略的パートナーシップ契約締結
【技術】AGV・AMRソリューション



アルプスアルパインと合併会社IDEC ALPS Technologies(株)設立
【技術】車載センシング・車載HMI



IDECファクトリーソリューションズ(株)が**スキューズ**(株)よりFA事業を譲受
【技術】自動化・システム化

2022

2021

Innovation by



2019

ワイドミュラー社 (ドイツ) との戦略的パートナーシップ契約締結
【技術】Push-in

2018

東京センサ グループ化
【技術】感圧センサ



2017

APEM社 (フランス) ・**ウェルキャット** グループ化
【技術】耐環境性能が高いスイッチ、ジョイスティック、ハンディターミナル、RFID



APEMグループ化により対象市場が拡大



FA業界を中心とする市場



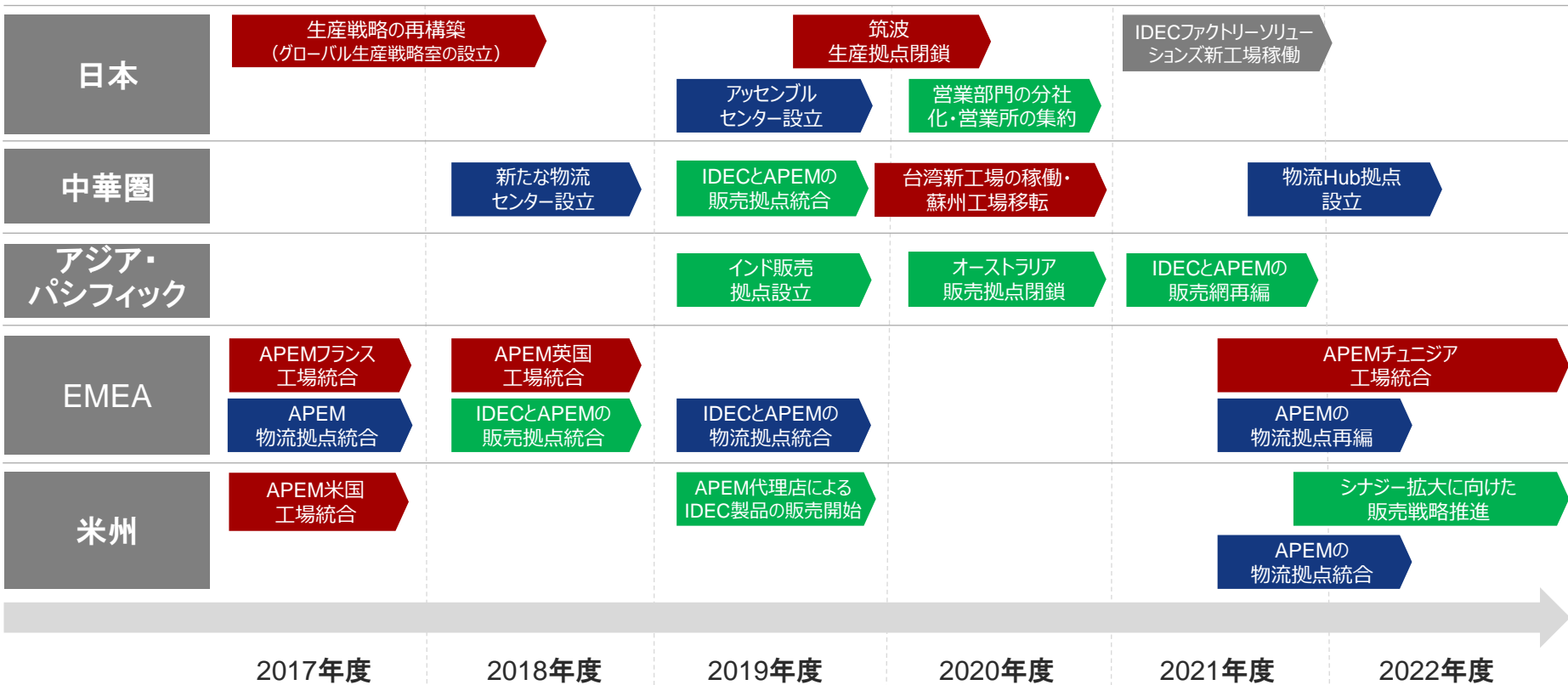
特殊車両 防衛・航空分野 マテリアルハンドリング

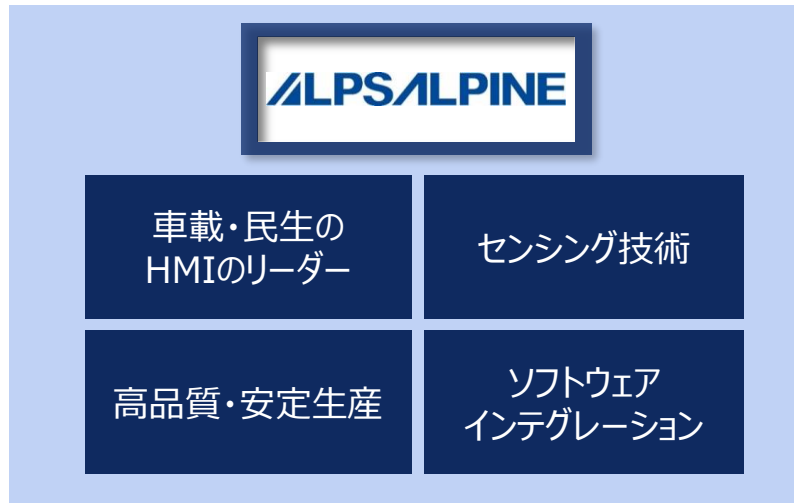


事業体制・拠点再編のロードマップ



● 生産 ● 販売 物流



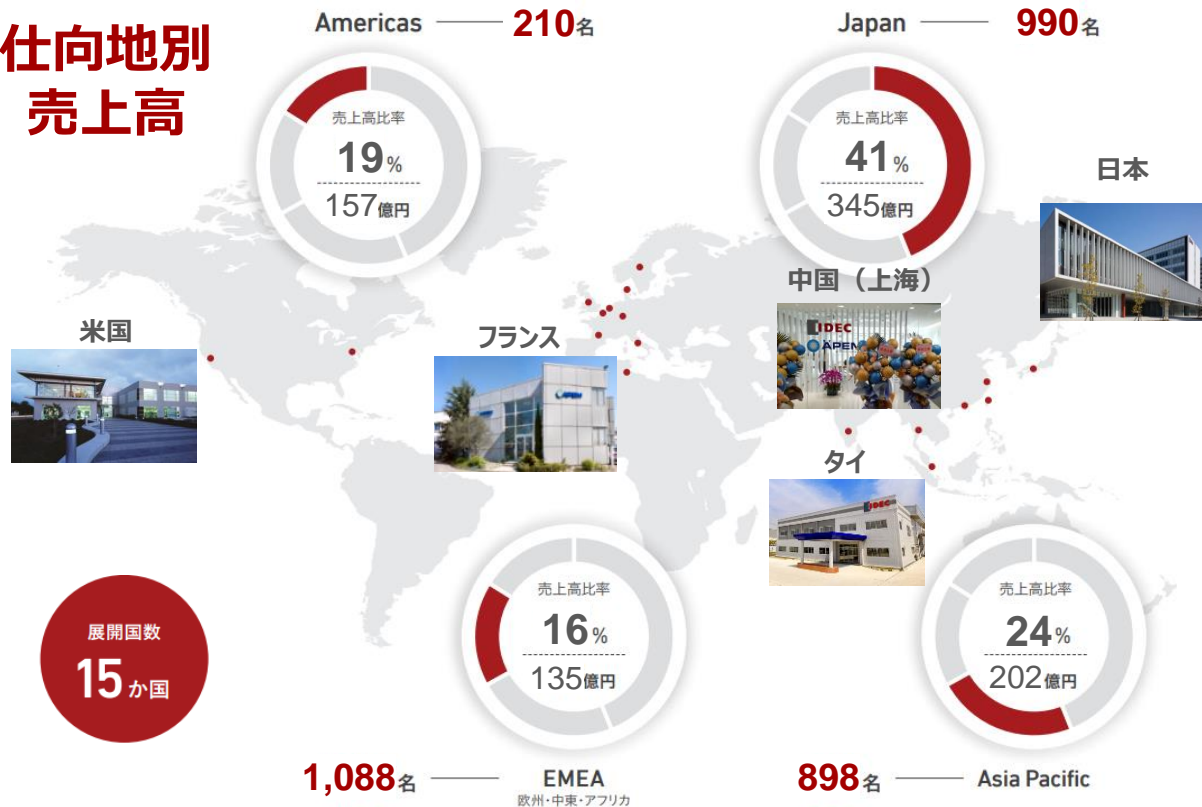


HMIのリーダーとしての共通の強み
+
両社固有の知見を活用した最適なソリューションの提案

高収益事業の確立を目指す合併会社を設立

グローバルネットワーク（2022年度）

仕向地別 売上高

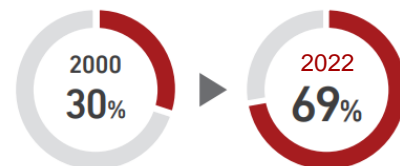


グローバル比率が拡大

海外売上高比率 ■ 日本 ■ 海外



海外社員比率 ■ 日本 ■ 海外



長期ビジョンとマテリアリティ

- 多様な社会課題を解決し、日々変化するお客さまのニーズにお応えするとともに、IDECグループが持続的な成長を実現するため、2050年のありたい姿を想定し、そこからバックキャストして2030年のビジョンを策定
- 長期ビジョンの基盤になっているのは、IDECグループの経営理念である『The IDEC Way』



- 2050年のありたい姿、2030年のビジョンを策定したことに伴い、マテリアリティについても改めて見直し
- **4つ目の項目として「企業基盤」を追加し、気候変動の対応に加えて、人的資本やガバナンスの一層の強化を推進**

2030年に目指す姿

関連するSDGs

<p>1</p> <p>生産性向上</p> <p>制御技術を活用した生産性向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 創業以来、IDECグループが培った制御技術、製品、システムソリューションの提供を通して、自社および世界中の顧客・社会の生産性、効率性の向上に貢献 	
<p>2</p> <p>安全・安心・ウェルビーイング</p> <p>安全・安心および健康で豊かな生活の追究・実現</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人と機械の最適環境の実現を通じた、さまざまな社会課題の解決による、安全で快適な環境づくり、健康で豊かな生活の実現 ● 技術開発・人材育成・マネジメント・社会ルール形成による安全性と生産性、ウェルビーイングの向上 	
<p>3</p> <p>気候変動</p> <p>気候変動への対応</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● IDECグループの技術、製品を活用した顧客・社会の環境負荷低減への貢献 ● 自社における再生可能エネルギー活用などによるCO₂排出量の削減 	
<p>4</p> <p>企業基盤</p> <p>価値創造を促進する経営構造の整備、組織風土の醸成および人材の育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 『The IDEC Way』の浸透と、働きがいのある魅力的な職場づくりによる企業の活性化 ● ディーセント・ワークやダイバーシティ&インクルージョン推進、人的資本の強化による、新たな価値やイノベーションを創造する人材の育成 ● 社会から信頼される企業となるための、ガバナンス、コンプライアンスのさらなる強化 	

IDECの競争優位性と強みとは？



- 制御機器の幅広い製品群をラインアップし、さまざまな業界・顧客向けに販売
- 用途に応じた数万機種種のラインアップが必要とされ、また各国の規格や、品質・安全への要求も高いため参入障壁が高い
- 幅広い製品群を活かし、顧客ニーズに合わせたソリューション展開にも注力

国内トップシェア！

50%



制御用操作スイッチ

国内トップシェア！

70%



非常停止用押ボタンスイッチ

2022年度実績（自社調べ）

■ 創業以来、**安全DNA**をベースとした製品開発、**国際規格**づくりにも積極的に参画

- 創業間もない1950年に開発した「SB形金属箱開閉器」に、**作業者の安全を守る**インターロック機構を採用
- 安全思想はDNAとして受け継がれており、1993年に**国内初の安全スイッチ**、1998年に**国内初のイネーブル装置**を発売



SB形金属箱開閉器

■ 国際規格づくりに積極的に参画し、イネーブルスイッチの国際安全規格を取得し、世界シェア約90%



国内・グローバル
トップシェア！



3ポジションイネーブル装置
2022年度実績（自社調べ）

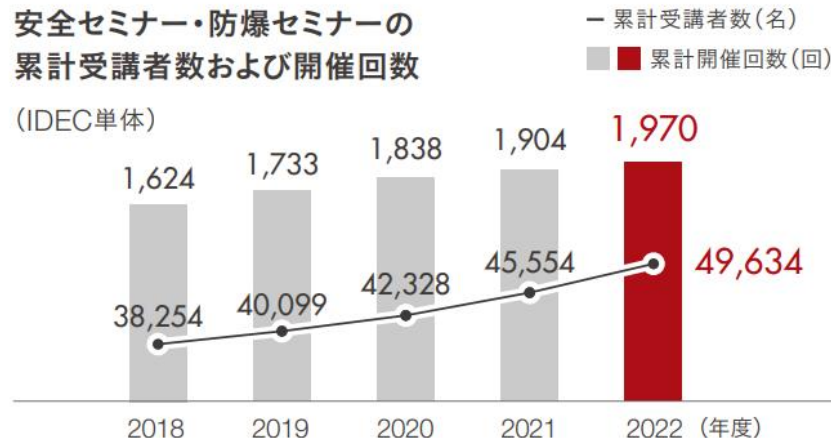
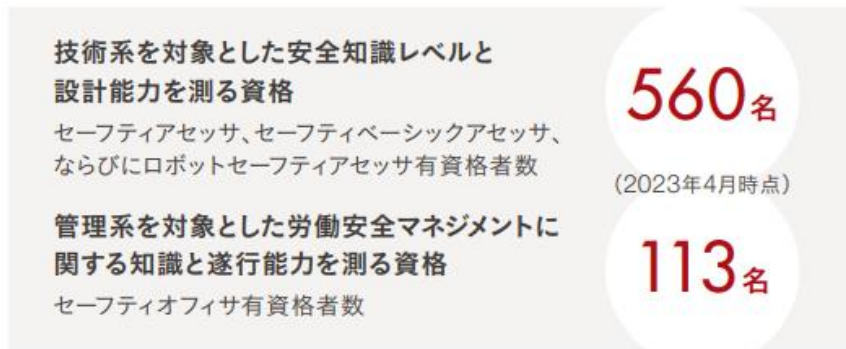


■ 産業標準化事業表彰 内閣総理大臣表彰を受賞

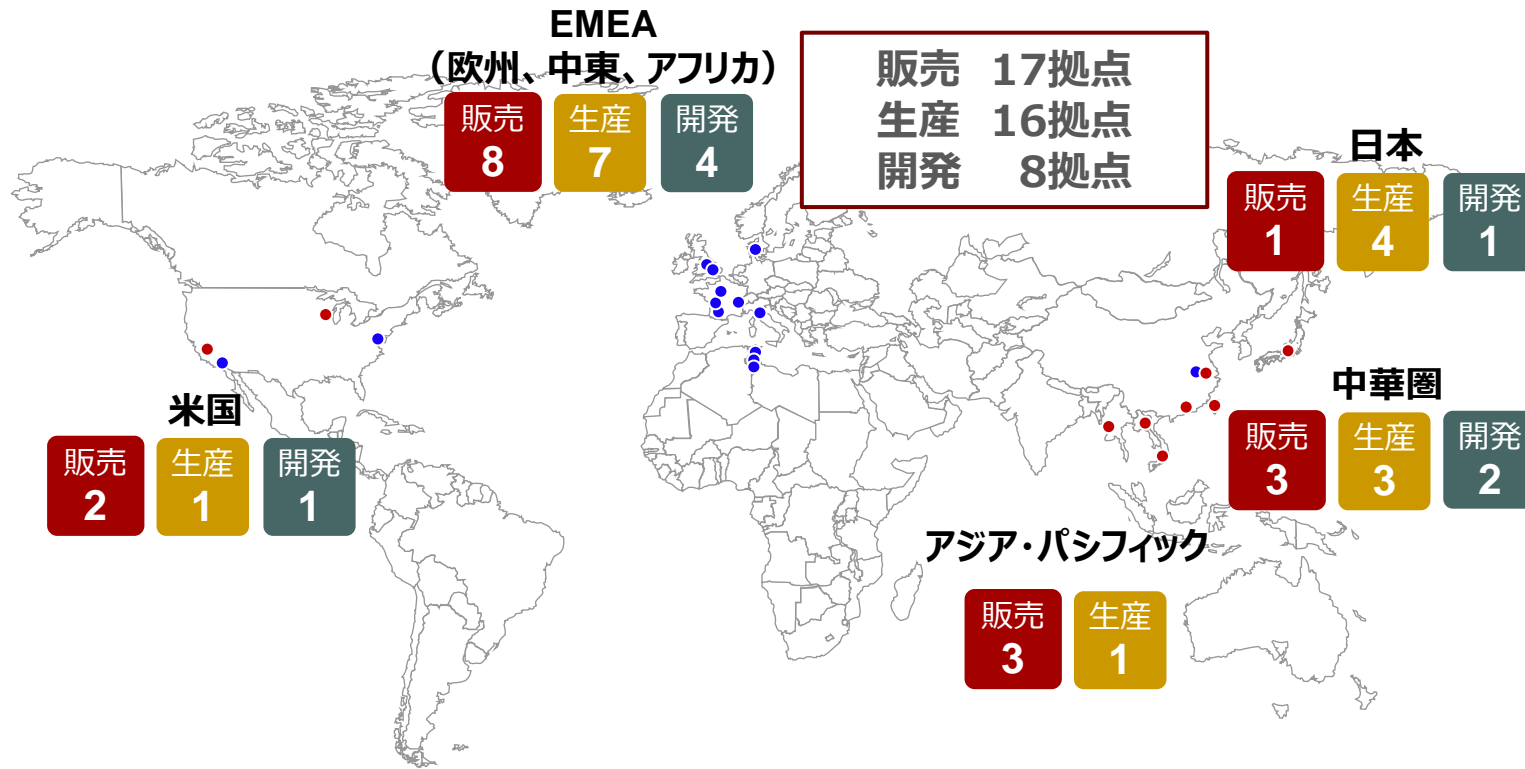


産業標準化事業表彰式（左）経済産業大臣政務官 長峯誠氏（右）IDEC株式会社 上席執行役員 藤田俊弘

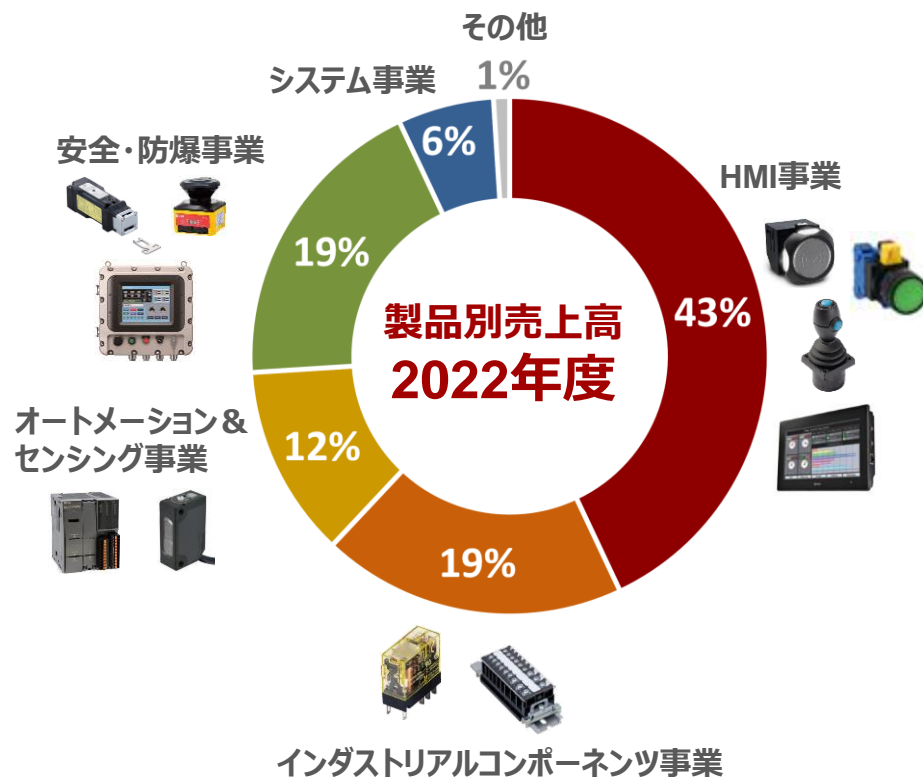
- **安全・安心を社会に提案できる人材育成**を積極的に推進しており、国際安全規格に基づくセーフティアセツサなどの資格取得を社内推奨し、各種セミナー、安全コンサルティングなども実施



■ グローバルに拠点をもち、**地産地消**で**開発・生産・販売**を推進



どんな事業を展開しているのか？



- 地域や顧客によって異なる多様な用途・ニーズに対応できる、**数万機種**の幅広い**製品ラインアップ**[°]





プログラマブル表示器

15インチ HG5G-V



8.4インチ HG3/4G-V/
2G-V



4.3インチ HG1G



フラッシュエルト®スイッチ

LB/LBW

φ18.2
φ22
φ24.5
φ26
φ28



φ22 φ30 CW



φ25.3 φ28 LW



スイッチ・表示灯

φ16 LB



φ16 A6



スイッチ・表示灯

スイッチのコンタクトブロックを統一しました。制御用スイッチを発売した1958年以來、安全性と使いやすさを追求し続けています。

φ22 HW



φ22 TW



φ25 TWS



φ30 TWN/
TWN



MA/MC



スイッチボード・スイッチボックス



表示灯

φ8 AP



φ16 AP6S



φ22 AP22



SLC



LH



照光/非照光プザー

φ22 HW1Z



カムスイッチ

φ25 CS

φ30



φ30 AC/UC



汎用ボックス

FB



AG/KG



HMI (Human-Machine Interface) 事業



押ボタンスイッチ
φ13.6 IP series



φ13.6 IS series



φ16 IA series



φ24.2 FD series



タクトイルスイッチ
Multimec™ series



メタル形押ボタンスイッチ
φ22 AV series



ピエゾ (圧電) 形スイッチ
φ16 PBA series



トグルスイッチ
600H-600NH series



CT series



5000 series



ロッカースイッチ
K series



LED表示灯
Q series



ジョイスティック
8000 series

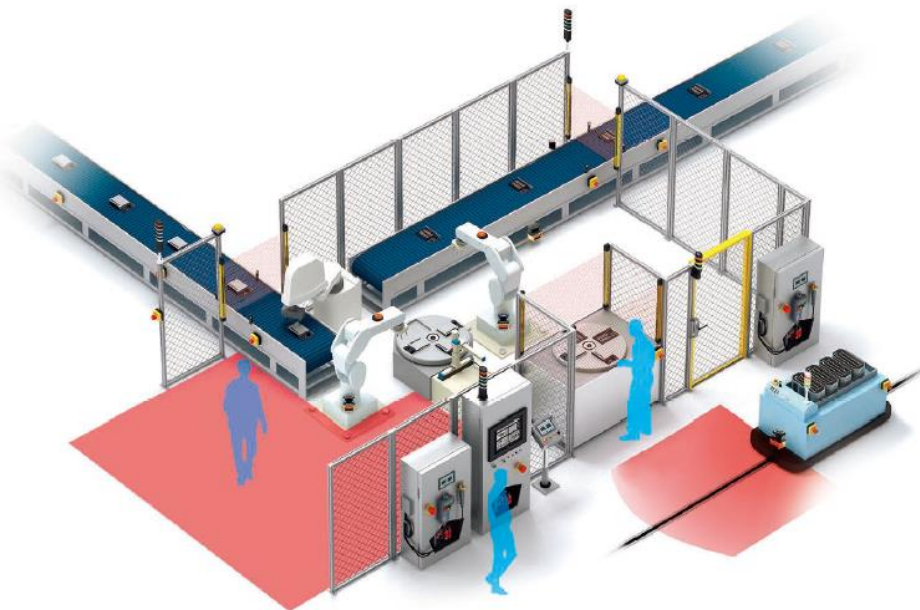


1000 series



TS series





イネーブルスイッチ

HE6B



HE2G



安全スイッチ

HS1T



HS5L



HS5D



安全スイッチ

HS6E/6B



アクチュエータ

ドアハンドル形



スライドハンドル形



非接触安全スイッチ

HS7A



HS3A



非常停止用押ボタンスイッチ

φ16 X6



X series

φ16 XA



φ22 XW



φ30 XN



FB



強制ガイド式リレー

RF1/2



安全リレーモジュール

HR5S/6S



セーフティコントローラ

FS1A



セーフティレーザキャパ

SE2L



セーフティライトカーテン

SE4D



積層表示灯

LD6A





コントロールボックス

EC2B



EC1A



有線/無線LAN固定ズームカメラ

PSM-03



ネットワークカメラ

BBK24M-T



マットスイッチ



LED照明

EF1A



接続箱

EJ5A



表示器ボックス

EX4R



EX1R-D3



バリア・検出機器

EB3C



EB3L



EB3N



EB3S



安全スイッチ

HS5L-K



接続箱

DX-IB



D5000



振動センサ

ES3M





リレー
RJ



RU



RV8H



RL



タイマ
GT3



ソケット
SJ



SU



DN/DF



サーキット
NC1V



NRF/NRP



端子台

A シリーズ



A2C 35
大容量形端子台



Z シリーズ



W シリーズ



BN-W/
BNH-W



BTB/
BTBH



電源

PS5R-V



PS6R



PS3V



LED 照明

LF2B



LF3D/1D





PLC・コントローラ
FC6A Plus/All-in-One



FT1A Pro/Lite



3.8
インチ FT1A Touch



スマートリレー
FL1F



イーサネットスイッチ
SX5E



センサ
SA2E/1E



SA1E-L



SA1E-X



SA1Q



SA1F



SA1T



センサチェッカー
SA1P



固定式コードリーダー
WB1F



ハンディ式コードリーダー

GD4590



固定式コードリーダー

PD9500DPM



固定式コードリーダー

Matrix 120



卓上スキャナ

Magellan 1500i



Magellan 3450



welcat

ウェアラブルターミナル

WIT-series

ウェアラブルが現場を変える！
ハンズフリーソリューション



ウェアラブルターミナル
WIT-SERIES

ハンディターミナル

XIT-series

速く！確実に！快適に！
用途に合わせて選べる
ハンディターミナルシリーズ



ハンディターミナル
XIT-series



協働ロボットシステム



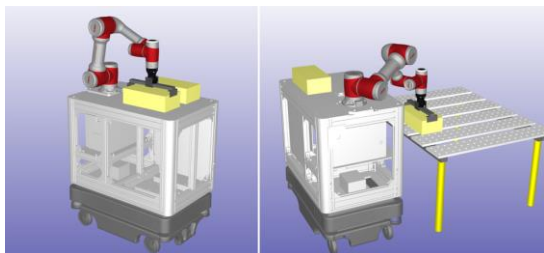
AMR



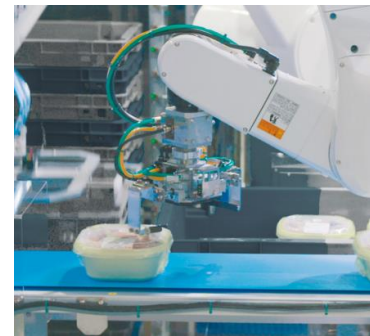
ウルトラファインバブル
発生装置



図書館システム



UL規格対応/
制御盤設計製作システム



食品製造向けシステム

どんなところで使われているのか？

さまざまなシーンで活用されるIDEC製品

オフィスビル



プログラマブル
表示器

スイッチング
パワーサプライ

コントロール
ボックス

特殊車両



小形スイッチ

ロックスイッチ

ジョイスティック

公共交通機関



非常停止用
押ボタンスイッチ

エッジスイッチ

LED照明

物流倉庫



センシング機器

AMR

工場内設備・生産ラインの各種機械装置



制御用操作
スイッチ

積層
表示灯

安全
スイッチ

セーフティ
コマンド

石油・化学プラント



防爆振動センサ

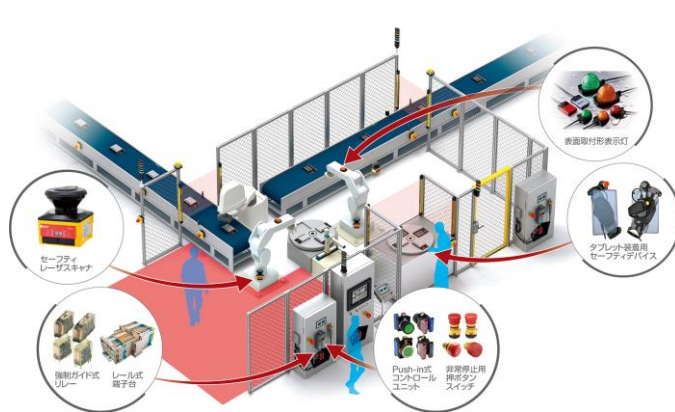
防爆LED照明

防爆表示器
ボックス

防爆カメラ

工場の生産ライン・物流倉庫での自動化や、 機器の制御を実現する製品やソリューション

例えば、自動車や電子機器などの生産ラインを制御するための**制御盤や安全装置**として搭載されていたり、近年需要が拡大している**物流の制御**や、**自律走行搬送ロボットの安全装置**としても活躍



装置自体を制御する製品群

幅広い製品群をラインアップしているため、さまざまな装置にも組み込まれており、**ものづくり現場の自動化・効率化、働く人々の安全・安心・ウェルビーイング**を実現

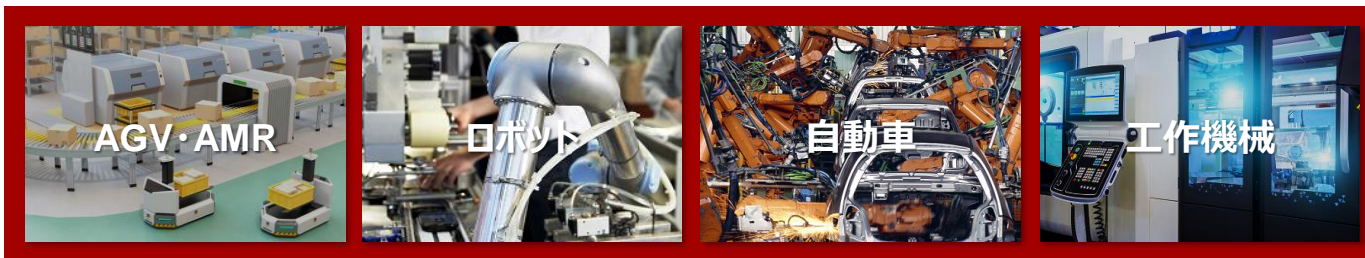
【半導体製造装置】



【工作機械】



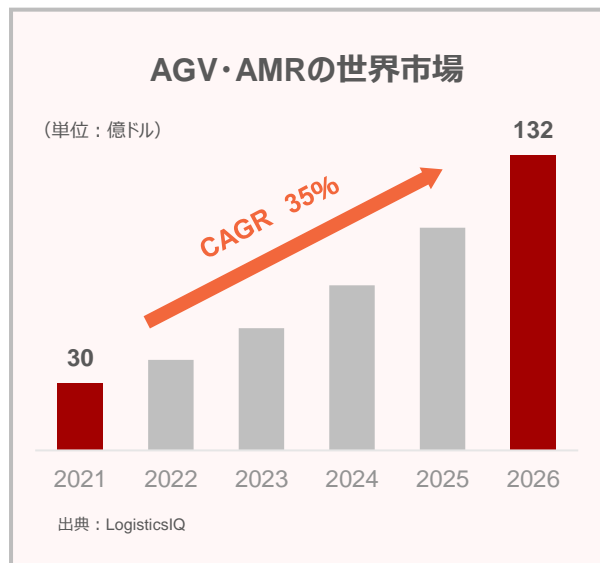
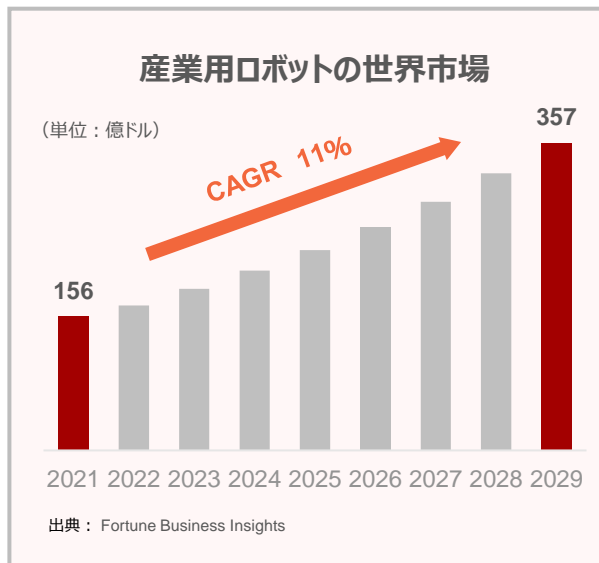
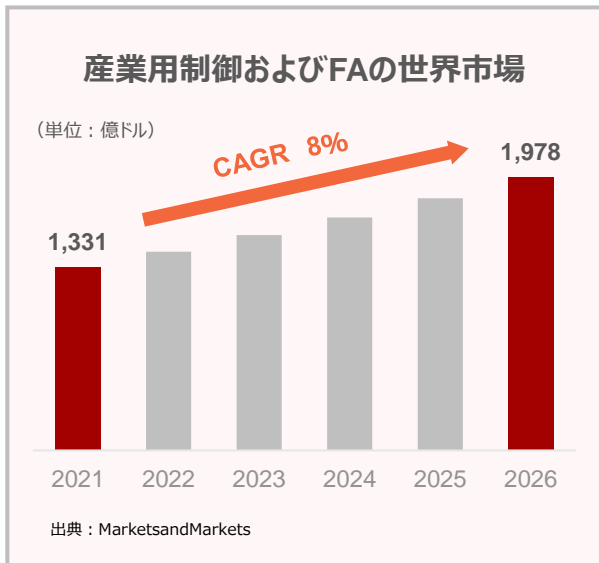
- 注力業界の中でも、今後急速な成長が期待される**AGV（無人搬送車）・AMR（自律走行搬送ロボット）**や**ロボット**に加え、**工作機械**、**自動車業界**に注力
- 各業界へ積極的な**ソリューション提案**により**競争力を強化**



注力業界における今後の市場成長予想

- 制御・FA世界市場は2026年にかけて**CAGR 8%**
- 産業用ロボット世界市場は2029年にかけて**CAGR 11%**
- AGV・AMR世界市場は2026年にかけて**CAGR 35%** (AGV 24%、AMR 43%)

※CAGR：年平均成長率



中期経営計画

(2022年度～2024年度)

- 戦略ごとにマテリアリティとも紐づく取り組みテーマを設定し、スローガンである **PASSION FOR YOUR SUCCESS** の実現を目指した取り組みを推進

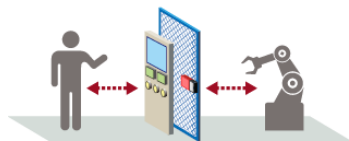
メガトレンド	社会課題	4つの基本戦略	取り組みテーマ	マテリアリティ			
				1 生産性向上	2 安全・安心・ ウェルビーイング	3 気候変動	4 企業基盤
デジタル化・自動化の進展	情報の迅速な共有 急速な技術革新	成長戦略の推進	・技術的な課題解決に基づく販売の強化	○	○	○	
			・地域・業界ニーズに基づいた製品開発・販売の加速	○	○	○	
人口動態の変化	高齢化社会 中産階級の台頭	収益性の向上	・中国、インドなど注力エリアの事業拡大	○	○		
			・M&Aや提携を含めた戦略的パートナーシップ構築	○	○		○
地政学的変化	不安定な政治情勢 地政学的パワーバランスの変化 パンデミックリスクの増加	ESGの取り組み強化	・生産改革による競争力強化	○			
			・グループ全体での共同購買、部材統一などによる製造原価の低減	○			
気候変動	気候変動 天然資源の不足	経営基盤の強化	・低収益・不採算製品の事業見直し及び統廃合の推進	○			
			・PMIと各種プロジェクト推進による事業体制の強化		○		○
ダイバーシティの進展	性別・年齢の多様化 Z世代の台頭	ESGの取り組み強化	・DX推進による業務効率向上				○
			・環境負荷低減に向けた取り組み推進			○	
			・ディーセント・ワークの推進、ダイバーシティの促進、人的資本への投資拡大による企業基盤の強化		○		○
			・経営の透明性・実効性の向上				○
			・安全・安心技術によるウェルビーイング創出	○	○		
			・高い製品品質・モノづくり能力の向上	○	○		

- 2022年度に中期経営計画の目標数値を達成したことから、計画を修正
- 長期的に営業利益率20%水準を目指していく

	2021年度	2022年度	2023年度 (計画)	2024年度 (計画)
売上高	708億円	839億円	750億円	850億円以上
営業利益	97億円	141億円	86.5億円	153億円以上
営業利益率	13.7%	16.8%	11.5%	18%以上
R O I C	9.2%	12.5%	7.0%	10%以上
R O E	17.2%	18.9%	10.0%	15%以上
E P S	264円	348円	217円	360円以上

HMI-X [Transformation]

- 人と機械の関係の変化に伴い、**最適なインターフェースの在り方が変化していくこと**を、「HMI-X」と定義
- これまで培ってきた、**HMI・安全を融合した製品・サービスを社会へ提供することで「HMI-X」をリードし**、多様なステークホルダーのウェルビーイング実現に貢献



人と機械が隔離された環境での制御



人と機械が協働する環境での制御





■ IATのセンサ



■ 非常停止アシストシステム

- 機械の使用制限、管理室や柵内の入室制限、装置の操作履歴管理などを可能にする、**RFIDリーダ**

HMI-X [Transformation]



- 非接触ニーズに対応する、**タッチレススイッチ**



- 遠隔監視を実現する、**Compact IoT機器**



- AGV・AMRなどに搭載される、**ez-Wheelの安全自律走行ホイール**



- **ANSHINセンサ**



- 市販のタブレットに、非常停止用押ボタンスイッチ・イネーブルスイッチを簡単に装着することができる、**セーフティコマンド**

- 安全な場所から装置を止めることができる、**非常停止アシストシステム**
- 協働ロボットやAMR・AGVなどの移動体などに取り付けることで、近づいたり、軽く触れるだけで、ロボットの動作を一時停止させることができる**ANSHINセンサ**
- 作業者が天井や躯体と高所作業車の間に挟まれることで発生する、重篤な労働災害を防止する、**挟まれ防止システム**



ANSHINセンサ



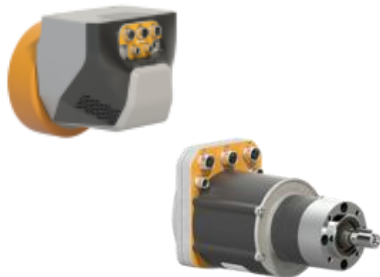
非常停止
アシストシステム



挟まれ防止システムの搭載例

- ez-Wheel社（フランス）の製品と、IDECの安全機器を組み合わせたソリューションを提案
- ウェルキャットの自動認識機器などを、マテハン業界向けに拡販
- お客さまや業界ごとに異なる、多様なニーズに対応する必要があることから、①～④まで今後対応できる体制づくりを行う予定（現在は①、②まで対応）

- ① 製品の単品販売
- ② 最適な製品のパッケージ提案
- ③ 特定アプリ向けにカスタマイズしたパッケージ
- ④ システムのフルセットアップ



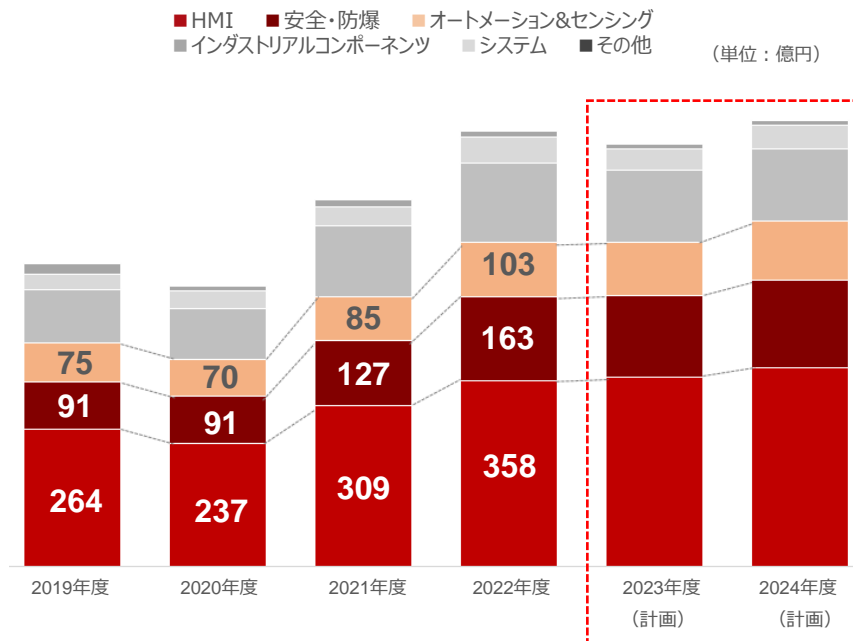
人と同じエリアで運行する場合に国際安全規格で要求される「安全モーション機能」など、走行に必要な全ての機能がオールインワンとなった、**安全自律走行ホイール**

現場で活用している台車を簡単に電動アシスト化し、一人で運ぶことが困難だった重量物搬送の負担を軽減する、**電動アシストホイール**

自動認識機器

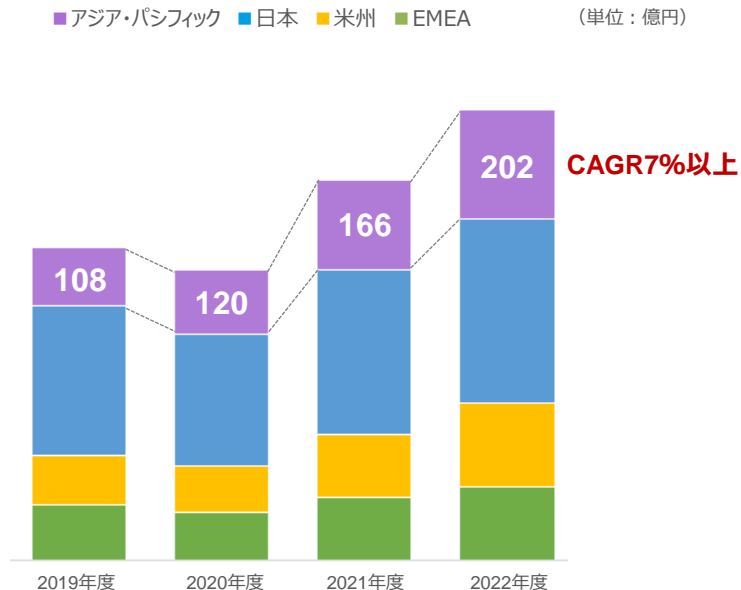
売上の伸び率、市場シェア、収益性が高いHMI、安全・安心製品や、成長性の高いオートメーション&センシングなどに注力

- 売上高に占めるソリューション比率を
現行の10%水準 から **長期的に20%**を目指す
- HMI、安全、オートメーション&センシングは、**7%以上のCAGR**を想定
- タッチレススイッチやセーフティコマンド、RFIDリーダなど、**HMI Innovation**製品により新市場を創造
- **安全ポートフォリオ拡充**に向けて、グローバルで安全機器の拡販を推進
- **IAT製品、ez-Wheelのソリューション**など、オートメーション & センシング製品をさらに拡大



市場規模が大きく売上拡大を期待できる 中国・インド市場での取り組み強化

- アジア・パシフィックで**7%以上のCAGR**を想定
- 日本や米州、EMEAなど成熟市場でのさらなるプレゼンス拡大に向けた、ソリューション提案の強化
- 中国の現地ニーズを踏まえた開発推進と、自律的な事業体制に基づく事業推進
- インドでの、HMI・安全メーカーとしての認知向上、主要製品のシェア拡大



1. 生産改革による競争力強化

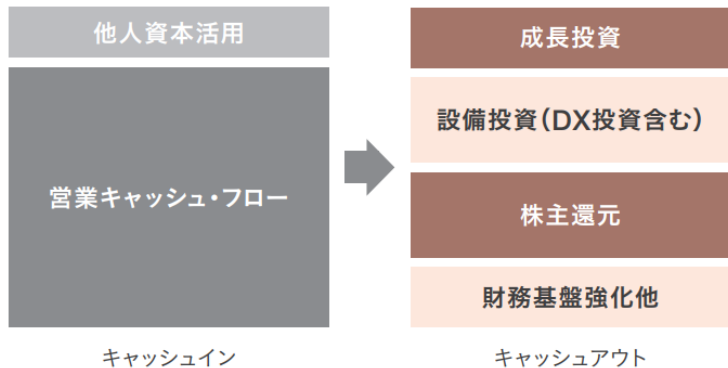
- 製造現場での実態に即した設計変更改善を行っていくため、2023年4月よりランチ設計機能を強化
- 生産体制・プロセスの抜本的見直しによる、品質・コストの改善
- 戦略的コストダウンテーマ（自動化ライン導入、VAVEによるコスト低減など）の推進
- グローバル購買機能の強化に向けた、客観的な立場での最適な購買活動推進による、グローバルベースでのコスト低減と最適なサプライチェーンの構築

2. 低収益・不採算製品の事業見直し及び統廃合の推進

- 不採算製品の見直しと、製品統廃合の推進
- 収益性も含めた製品価格の最適化

- サステナビリティ投資や人的投資なども含む、成長投資の拡大
- ERPやSCP導入など、DX投資の加速
- 継続的・安定的な株主還元の実施

キャピタル・アロケーション (2025年3月期)



中長期的な成長に向けた積極的な投資

課題	中期経営計画
成長投資	<ul style="list-style-type: none"> ● M&A・アライアンス投資 <ul style="list-style-type: none"> － 安全分野、AGV業界、ソフトウェア、エンジニアリング強化に向けたM&A、アライアンス － 中国、インドにおけるパートナーシップ強化 ● 新製品投資 <ul style="list-style-type: none"> － NEW HMI・安全分野への積極投資 ● 人的投資 <ul style="list-style-type: none"> － 研修・教育費用の拡大、グローバル人材開発投資 ● サステナビリティ投資 <ul style="list-style-type: none"> － 太陽光発電設備の設置、省エネ空調設備への入れ替え 環境に配慮した製品開発、環境に配慮した素材の応用研究
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> ● 拠点・設備 <ul style="list-style-type: none"> － 生産拠点増設、自動化・省力化整備の導入、拠点最適化 ● DX投資 <ul style="list-style-type: none"> － ERPの刷新、グローバルSCP導入、タレントマネジメントシステム整備
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ● 還元政策 <ul style="list-style-type: none"> － 配当性向30%～50%での積極的な配当、株価水準も踏まえた機動的な自社株取得の実施

